

中学二年 国語 二学期期末予想問題

五十分・百点／大問七題・小問四十問

得点／百

小説の人物像・表現の効果、説明文の論理・根拠の吟味、類義語・対義語、自立語と付属語・品詞の復習、敬語の基礎、「平家物語」冒頭と漢詩「春暁」。用言の詳しい活用・助動詞の識別は含めません。

学校・教科書で教材と進度は異なります。学校の試験範囲を確かめて使いましょう。現代文は本教材のための創作文です。

問一～四は【】内の読みをひらがなで、送り仮名も含めて書きます。問五～八は【】内を漢字で書きます。各二点。

問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
出来事の【ゲンイン】を調べる。	けが人を病院へ【ハンソウ】する。	必要な費用を【フタン】する。	水が水蒸気になる現象を【ジョウハツ】という。	相手の言葉を【遮る】。	山の尾根を【縦走】する。	努力の【成果】を確かめる。	【慎重】に作業を進める。

記号は一つ選びます。記述では句読点・かぎカッコ・数字も一字に数えます。空いているマスは、すべて埋める必要はありません。記述は指定された字数の範囲で書きましょう。

二 言葉の知識 問九～十二

問九（二点） 「具体」の対義語を漢字二字で書きなさい。

[illegible]

問十（一点） 「適切」の類義語として最も近いものを選びなさい。

ア
過剩

イ
意外

ウ 妥当

工
单
純

問十一（二点） 「胸をなで下ろす」の意味を選びなさい。

ア
安心する

イ 自慢する

ウ
驚いて逃げる

工 不満をこらえる

問十二(一点) 「去年の売上をこえる」の「こえる」に用いる漢字を選びなさい。

ア
越

イ
超

ウ
肥

工
声

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

四 小説を読む 本文

① 放送室の時計が、かちりと鳴った。私は画面の細い線を指で追い、声と声の間にある空白を消した。商店街の店を紹介する、昼の放送の録音だった。三分以内にまとめるため、同じ話の繰り返しを削る。そうしているうちに、返事までの間も気になり始めた。途切れず、すらすら聞こえる。私はその仕上がりや、上手な編集だと思った。

② 取材したのは、今月で店を閉める時計店だった。店主は私たちの質問をよく聞いて、時々、作業台の上に目を落とした。「お客さんと話すのが、楽しみでね。」そこで、かすかに金属の触れ合う音がした。私はその音も消していた。完成した録音を結衣（ゆい）に聞かせると、店主の「これからは朝寝坊ができるね」という声が明るく響いた。私は店主につられて笑った。

③ けれど、結衣は笑わなかった。「返事の前を、もう一回。」私は元の録音を聞いた。結衣は取材の間、店の道具を写真に撮っていた。「変な音が入ってるけど。」そう言う私に、結衣は「うん」とだけ答えた。やり直しを命じられたようで、私は椅子に深く座り直した。

④ 元の録音には、私の質問の後に、短い沈黙があった。こつ、と金属の触れる音がする。取材の日、店主が古い腕時計を裏返していた光景がよみがえった。それは、修理を頼んだ客が来週取りに来る品だと言っていた。店主は傷のついた裏ぶたを親指で一度なぞり、それから顔を上げたのだった。私の指は、停止ボタンの手前で止まった。

⑤ 私は自分の声を聞いた。「店を閉めたら、楽になりますか。それとも、寂しいですか。」沈黙の後、店主は「どちらでも、でしょうね」と答えていた。そして、少し息を吸ってから、朝寝坊の話をした。編集した録音では、「どちらでも」の後がすぐに明るい声につながっていた。私は、画面の空白だけを見て、そこにいた店主を見ていなかったのかもしれない。

⑥ 「三分に、入るかな。」私はつぶやいた。結衣は完成版の原稿を指さした。「この店の住所、二回言ってるよ。」二人で重なっている紹介を短くし、店主の返事の前を元に戻した。もう一度、最初から再生した。長いと思った一秒は、もう長くはなかった。時計の音が、声の間を静かに流れた。

本文は本プリントのための創作文です。①～⑥は段落番号です。設問ページには必要な段落を再掲しています。

四 小説を読む 問十九～二十

① 放送室の時計が、かちりと鳴った。私は画面の細い線を指で追い、声と声の間にある空白を消した。商店街の店を紹介する、昼の放送の録音だった。三分以内にまとめるため、同じ話の繰り返しを削る。そうしているうちに、返事までの間も気になり始めた。途切れず、すらすら聞こえる。私はその仕上がりを、上手な編集だと思った。

② 取材したのは、今月で店を閉める時計店だった。店主は私たちの質問をよく聞いて、時々、作業台の上に目を落とした。「お客さんと話すのが、楽しみでね。」そこで、かすかに金属の触れ合う音がした。私はその音も消していた。完成した録音を結衣（ゆい）に聞かせると、店主の「これからは朝寝坊ができるね」という声が明るく響いた。私は店主につられて笑った。

③ けれど、結衣は笑わなかった。「返事の前を、もう一回。」私は元の録音を開いた。結衣は取材の間、店の道具を写真に撮っていた。「変な音が入ってるけど。」と言う私に、結衣は「うん」とだけ答えた。やり直しを命じられたようで、私は椅子に深く座り直した。

全文は四ページ

問十九（二点） ①の編集した録音の仕上がりについて、初めの「私」が重視していたことを選びなさい。

ア 店の歴史をできるだけ長く紹介すること

イ 取材相手の感情をそのまま残すこと

ウ 途切れず滑らかに聞こえるようにすること

エ 放送委員の人数を増やすこと

--	--

問二十（二点） ②の「笑った」と③の「笑わなかった」の対比で明らかにするものを選びなさい。

ア 二人が録音機の性能を比較していること

イ 同じ声を聞く二人の受け止め方の違い

ウ 結衣が店主を嫌っていること

エ 「私」が取材に行かなかったこと

--	--

④ 元の録音には、私の質問の後に、短い沈黙があった。こつ、と金属の触れる音がする。取材の日、店主が古い腕時計を裏返していた光景がよみがえった。それは、修理を頼んだ客が来週取りに来る品だと言っていた。店主は傷のついた裏ぶたを親指で一度なぞり、それから顔を上げたのだった。私の指は、停止ボタンの手前で止まった。

問二十一（三点）
③で結衣が「返事の前を、もう一回」と言った理由を、三十字以上四十五字以内で書きなさい。

[illegible]

問二十二（三点）
④の「私の指は、停止ボタンの手前で止まった」から分かる心情を選びなさい。

ア 消そうとしていた時間に意味を感じ、聞き続けたくなった

イ 録音機が壊れたことに気づき、困っている

ウ 結衣に操作を禁止され、腹を立てている

工 放送時間が余ることを喜んでいる

四 小説を読む 問二十三～二十五

⑤ 私は自分の声を聞いた。「店を閉めたら、楽になりますか。それとも、寂しいですか。」沈黙の後、店主は「どちらも、でしようね」と答えていた。そして、少し息を吸ってから、朝寝坊の話をした。編集した録音では、「どちらも」の後がすぐに明るい声につながっていた。私は、画面の空白だけを見て、そこにいた店主を見ていなかったのかもしれない。

⑥ 「三分に、入るかな。」私はつぶやいた。結衣は完成版の原稿を指さした。「この店の住所、二回言ってるよ。」二人で重なっている紹介を短くし、店主の返事の前を元に戻した。もう一度、最初から再生した。長いと思った一秒は、もう長くはなかった。時計の音が、声の間を静かに流れた。

問二十三（三點）
⑤で、店主が「どちらも」と答えた二つの気持ちを書きなさい。

[illegible]

問二十四（四点） ⑥の「長いと思った一秒は、もう長くはなかった」とはどういうことか。三十五字以上五十字以内で説明しなさい。

[illegible]

問二十五（五点） 題名を「返事の前」とするとき、そのよさを本文の構成に触れ、四十字以上六十字以内で説明しなさい。

[illegible]

全文は四ページ

五 説明文・論説文を読む 本文

① 学校で開いた展示会の来場者が、去年より増えたとする。準備した人は、うれしく思うだろう。「今年は成功だった」という言葉も聞こえてきそうだ。来場者数は、集めやすく比べやすい情報である。だが、その数字の増加だけで、展示会が成功したと言い切ってよいのだろうか。

② 来場者数が多ければ、それだけ多くの人に展示を見てもらう機会があったとはいえる。【A】、訪れた人が展示をどう受け止めたかや、初めて来た人にも説明が伝わったかは、それだけでは分からないことである。何人が来たかを数えた記録は大切だが、展示の質をあらゆる面から表すものではない。

③ 催しを振り返るときには、何のために開いたのかという目的に立ち返り、確かめる観点を先に決める必要がある。地域の人と新しく交流することが目的なら、初めて来た人の割合や、会話の様子が手がかりになる。ある出来事について理解を深めてもらうことが目的なら、来場者が何を知ったのかを確かめたい。目的が違えば、確かめるべき成果も、集めるべき情報も変わる。

④ そこで、人数に加えて、来場者に感想を書いてもらうことが考えられる。「説明を読んで、今までの考えが変わった」という言葉は、人数の記録にはない手がかりを与えてくれる。ただし、印象に残った一人の言葉を、来場者全員の考えとして扱うことはできない。感想を書いた人数や、異なる意見があったかどうかも確かめなければならぬ。自由に書かれた言葉も、読み方によっては、一部の声だけを大きく見せてしまう。

⑤ 数字を言葉より信じるか、言葉を数字より信じるかという二者択一ではない。大切なのは、催しの目的に照らして、異なる情報が何を示し、何を示していないかを確かめ、組み合わせることである。そうすれば、人数が増えた喜びを認めながら、説明の改善点も探せる。評価とは点数を付けて終わる作業ではなく、次に何を変えるかを考えるための作業なのである。

本文中の展示会と感想は、説明のために作った例です。実在の調査結果ではありません。設問ページには必要な段落を再掲しています。

五 説明文・論説文を読む 問二十六～二十七

① 学校で開いた展示会の来場者が、去年より増えたとする。準備した人は、うれしく思うだろう。「今年は成功だった」という言葉も聞こえてきそうだ。来場者数は、集めやすく比べやすい情報である。だが、その数字の増加だけで、展示会が成功したと言いつてよいのだろうか。

② 来場者数が増えれば、それだけ多くの人に展示を見てもらう機会があったとはいえる。【A】、訪れた人が展示をどう受け止めたかや、初めて来た人にも説明が伝わったかは、それだけでは分からないことである。何人が来たかを数えた記録は大切だが、展示の質をあらゆる面から表すものではない。

問二十六（二点） ①で、筆者が疑問としていることを選びなさい。

ア 数字の増加だけで催しの成功を判断してよいか

イ 来場者数を数える必要があるか

ウ 展示物を置く場所を増やすべきか

エ どの催しでも人数が同じになるか

問二十七（二点） ②の空欄Aに入る語を選びなさい。

ア だから

イ 例えば

ウ さらに

エ しかし

全文は八ページ

③ 催しを振り返るときには、何のために開いたのかという目的に立ち返り、確かめる観点を先に決める必要がある。地域の人と新しく交流することが目的なら、初めて来た人の割合や、会話の様子が手がかりになる。ある出来事について理解を深めてもらうことが目的なら、来場者が何を知ったのかを確かめたい。目的が違えば、確かめるべき成果も、集めるべき情報も変わる。

④　そこで、人数に加えて、来場者に感想を書いてもらうことが考えられる。「説明を読んで、今までの考えが変わった」という言葉は、人数の記録にはない手がかりを与えてくれる。ただし、印象に残った一人の言葉を、来場者全員の考えとして扱うことはできない。感想を書いた人数や、異なる意見があったかどうかとも確かめなければならない。自由に書かれた言葉も、読み方によっては、一部の声を大きく見せてしまう。

②の「それだけでは分らないこと」の例を一つ、本文中から書きなさい。

[illegible]

③の「観点を先に決める」ことが必要な理由を、三十字以上四十五字以内で書きなさい。

[illegible]

すたぺンドリル

五 説明文・論説文を読む 問三十～三十一

④ そこで、人数に加えて、来場者に感想を書いてもらうことが考えられる。「説明を読んで、今までの考えが変わった」という言葉は、人数の記録にはない手がかりを与えてくれる。ただし、印象に残った一人の言葉を、来場者全員の考えとして扱うことはできない。感想を書いた人数や、異なる意見があったかどうかも確かめなければならない。自由に書かれた言葉も、読み方によっては、一部の声だけを大きく見せてしまう。

⑤ 数字を言葉より信じるか、言葉を数字より信じるかという二者択一ではない。大切なのは、催しの目的に照らして、異なる情報は何を示し、何を示していないかを確かめ、組み合わせることである。そうすれば、人数が増えた喜びを認めながら、説明の改善点も探せる。評価とは点数を付けて終わる作業ではなく、次に何を変えるかを考えるための作業なのである。

問三十（三点） ④で、自由記述の感想を用いる際の注意として述べていることを選びなさい。

ア 数字と一致しない感想は捨てる

イ 感想の長さだけで価値を判断する

ウ 一人の感想を全員の考えとみなさない

エ よい感想だけを集めて発表する

問三十一（四点） ⑤の主張をまとめたものとして最も適切なものを選びなさい。

ア 数字は客観的なので、ほかの情報は必要ない

イ 目的に照らし、異なる情報の示す範囲を確かめて組み合わせる

ウ 感想は詳しいので、数字より常に正確である

エ 評価は人によって違うので、催しを振り返る必要はない

全文は八ページ

五 説明文・論説文を読む 問三十二

④ そこで、人数に加えて、来場者に感想を書いてもらうことが考えられる。「説明を読んで、今までの考えが変わった」という言葉は、人数の記録にはない手がかりを与えてくれる。ただし、印象に残った一人の言葉を、来場者全員の考えとして扱うことはできない。感想を書いた人数や、異なる意見があったかどうかも確かめなければならない。自由に書かれた言葉も、読み方によっては、一部の声を大きく見せてしまう。

⑤ 数字を言葉より信じるか、言葉を数字より信じるかという二者択一ではない。大切なのは、催しの目的に照らして、異なる情報は何を示し、何を示していないかを確かめ、組み合わせることである。そうすれば、人数が増えた喜びを認めながら、説明の改善点も探せる。評価とは点数を付けて終わる作業ではなく、次に何を変えるかを考えるための作業なのである。

問三十二（五点） 来場者数が増えた催しで「内容を深く理解してもらえた」と主張したい。本文に基づき、さらに調べるべきこととその理由を、四十五字以上六十五字以内で書きなさい。

[illegible]

全文は八ページ

六 古典 問三十三～三十五

資料A 『平家物語』冒頭（作者未詳）

祇園精舎（ぎおんしょうじゃ）の鐘の聲、諸行無常（しよぎょうむじょう）の響きあり。沙羅双樹（さらそうじゅ）の花の色、盛者必衰（じょうしやひつすい）の理（ことわり）をあらはす。おこれる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。たけき者もつひにはほろびぬ、ひとへに風の前の塵（ちり）に同じ。

資料B 孟浩然（もうこうねん）「春曉（しゅんぎょう）」

春眠不覺曉／
 処処聞啼鳥／
 夜來風雨聲／
 花落知多少

書き下し文…春眠
暁を覚えず。処処
啼鳥を聞く。夜来
風雨の声。花落つること知る多少。

語注：A 理に道理。おごれるに権力や地位に得意になっている。たけきに勢いが激しく強い。ひとへににまったく。

B 曉（あかつき） Ⅱ夜明け。 処処（しよしよ） Ⅱあちらこちら。 啼鳥（ていちょう） Ⅱ鳥の鳴き声。 夜来Ⅱ昨夜。 知る多少Ⅱどれほどだろう。 表記・句読点を学習用に整えています。

問三十三（二点） 資料Aの「あらはす」を現代仮名遣いに直しなさい。

[illegible]

資料Aの「久しからず」に最も近い意味を選びなさい。

ア
久しぶりである

イ 長く続く

ウ 長くは続かない

工
すぐに始まる

資料Aで、たけき者が滅びる様子をたとえたものを、本文から抜き出さない。

[illegible]

[illegible][illegible][illegible]

七 資料を用いて書く

文化祭の体験教室についての架空の集計です。各年、体験者全員が回答し、「満足した・どちらともいえない・満足しなかった」から一つ選びました。

項目	去年	今年
体験者数	40人	60人
「満足した」と答えた人数	32人	32人

資料だけを根拠にした発言として、最も適切なものを選びなさい。

ア 全校生徒が必ず参加するようになった

イ 今年体験者全員が満了した

体験者数は増えたが、満足した人数は変わらなかった

工 説明の内容が去年より簡単になった

問四十（六点） 体験教室を次に改善するため、追加で尋ねたい質問を一つ提案しなさい。表の二つの年を比べた事実と、その質問が役立つ理由を入れ、六十字以上九十字以内で書くこと。

[illegible]